

くらしの目線で市政を変える

こんにちは 日本共産党 西野さち子です！

発行：2018年10月14日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目381 日本共産党伏見地区委員会 TEL:075(611)9135 FAX:075(602)9117



議会

「生活保護行政」「通学費の負担軽減」「小栗栖小中一貫校計画」

レポート

連日、市議会で論戦中！



保健福祉局

生活保護費の更なる引き下げが10月から行われます。この夏の酷暑で熱中症で入院される方やなくなられる方が出ました。クーラーなしでは命の危険さえ。新規の保護世帯や転居された方にはクーラー設置費が出ますが、保護受給世帯には「貯金するか借金をして」と冷たい対応です。西野市議は「下がり続ける保護費の中でどうして貯金ができるのか。クーラー設置費を出すべき。電気代を心配してクーラーをつけられない世帯もある。夏季見舞金を創設すべき」と質しました。理事者は「保護受給世帯も同じ対応をすべきというはその通り。国に要求している」と答弁しました。「国を待つのではなく、市が独自で行うべき」と質しました。

また、転居の際に「生活保護世帯お断り」という不動産業者が数社あることを取り上げ、「人権問題だ。業者や家主に啓発指導すべきではな

2017年度決算を審議する決算議会が行われています。

西野さち子市議は、局別質疑の保健福祉局では生活保護行政について、教育委員会では通学費の負担軽減や小栗栖地域の小中一貫校計画などについて質疑をしました。

いか」と質しました。「調査して指導する」と答弁がありました。

教育委員会

京都市内の義務教育学校に通う児童生徒の中で、交通費を負担しているのは今年度でも803人です。共産党は保護者の負担軽減を求めてきました。教育委員会も努力をして、今は2人目からは無料にしています。

しかし、まだ小学生で2,880円、中学生で4,800円の負担が必要です。憲法で「義務教育はこれを無料にする」と定められていますが、交通費以外にも小学生で69,235円中学生で33,210円の負担が必要です。小中一貫校は市バスが無料のスクールバスを走らせていますから、「同じように無料にすべき」と質しました。

「遠いところに住んでいるのは家庭の都合」と答弁があったので西野市議は「校区を広く遠くまで広げているのは教育委員会ではないか。改めて負担軽減を求める」と質しました。

沖縄県知事選挙 玉城デニーさんが圧勝！！

9月30日に行われた沖縄の知事選挙。「新基地はいらない」と訴えた、玉城デニーさんが相手候補に8万票余りの差をつける39万6632票を獲得して勝利しました。

翁長前知事の妻の樹子さんは「かつて米軍が銃剣とブルドーザーで住民に襲い掛かった。今度は安倍内閣が与党総がかりで襲ってきた。」「オール沖縄の草の根の民主主義の勝利です」と語りました。

住民と野党の共闘が、住民無視の安倍内閣に勝利しました。選挙結果を重く受け止め、安倍内閣は辺野古基地建設を断

念すべきです。この勝利を全国に広げ、一刻も早く安倍内閣を終わらせましょう。そして、来年の統一地方選挙と参議院選挙に繋げましょう。



「一当選確実」の報を受けて喜びに前わ
列中央に玉城デニーさん